



## 2. 鳥島近海地震について

10月5日の11時頃、鳥島近海（八丈島の南370km付近）の深さ約10kmを震源とするM6.6の地震（速報値）が発生しました。

東北東から西南西方向に張力軸を持つ「正断層型」で、フィリピン海プレート内で発生した地震とみられます。

この地震で、伊豆諸島に津波注意報が発表され、八丈島で30cmの津波が観測されました。

この海域では、3日にはM6.4の最大震度1、4日にはM6.2の地震が起きていて、これに続く地震でした。

さらに9日の5時25分頃にも地震（米国地質調査所の測定ではM4.9）が発生し、千葉県九十九里・外房、千葉県内房、伊豆諸島、小笠原諸島、高知県、宮崎県、鹿児島県東部、種子島・屋久島地方、奄美群島・トカラ列島と、太平洋側の広範囲に津波注意報が発表されました。

観測された津波の高さは、最大が伊豆諸島で0.6mでした。

鳥島近海は地震計の設置が少なく、震源や地震の規模などを特定するのが難しい領域となっています。

気象庁によると、仮にM5程度であれば、通常は津波が発生するような規模ではなく、地震が津波の原因ではない可能性もあるとのこと。

例えば火山活動や火山噴火、海底の大規模な地滑りなどの地殻変動に伴って、海面を押し上げたり、押し下げたりする事象が起きれば津波が発生するので、そういったものかもしれないとしています。

あるいは昨年1月、南太平洋のトンガ諸島で大規模な海底火山噴火が起きた際に「気圧波」が原因で津波が観測された例もあります。

## 3. 津波注意報・警報について

改めて、現在の津波注意報・警報について確認しておきたいと思います。

津波発生の有無は、地震発生から3分かた5分をめぐりに発表されます。

予想される津波の高さは、「1m、3m、5m、10m、10m超」の5段階で発表されます。

津波の高さ1mが津波注意報、3mが津波警報、5m以上が大津波警報として発表されます。

津波警報の第一報では、津波の高さは地震の規模や位置を基に推定されます。





気象庁の新津波電文に対応し、津波警報・注意報も通報することができます。  
「高度利用者向け緊急地震速報(予報)」を利用した通報システムです。  
<http://www.estrat.co.jp/sn-lite.html>

・～・～・～・～・～・～・～・～・～・発行元・～・～・～・～・～・～・～・～・

ストラテジー株式会社  
〒182-0023 東京都調布市染地 2-14-50  
SignalNow シリーズの開発・配信事業を行っています。  
緊急地震速報 地震動の予報業務の許可事業者 許可第 198 号  
<http://www.estrat.co.jp/>

・～・～・～・～・～・～・～・～・～・編集・～・～・～・～・～・～・～・～・

株式会社小林洋行コミュニケーションズ SignalNow デスク  
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-15-7  
<https://kobayashiyoko-com.jp/sn/>

---

Copyright 2023 Strategy Corporation.